

令和八年度 新規採用職員向け あいさつ

おはようございます。横須賀市長の上地です。

皆さん、初めまして。

横須賀市新規採用職員の皆さん。

本日、皆さんを横須賀市役所の新たな仲間として迎えることができ、大変嬉しく思っています。

心から歓迎します。

全国には数多くの自治体があり、市内にも数多くの企業がある中で、皆さんは横須賀市役所を選び、本日を迎えました。

同じ時代を、同じ仲間として、「横須賀市民の福祉の充実」という同じ目的のために、これから皆さんと、共に歩んでいけることを、非常に楽しみにしています。

さて、今年度の新規採用職員は総計四十七名です。

就職氷河期を経験された世代から、いわゆるZ世代まで、非常に幅広い顔ぶれとなっています。

多様な経験や価値観が交わることは、組織にとって大きな力です。

互いを尊重し、学び合いながら、それぞれの持ち味を存分に生かし、横須賀市に新たな風を吹き込んでくれることを期待しています。

近年、私たちは新型コロナウイルスという未曾有の危機を乗り越え、新たな日常へと歩みを進めてきました。

しかし、昨今では、世界情勢の変化や、これに伴うエネルギー価格の高騰や物価高、国内では相次ぐ自然災害など、市民生活を取り巻く環境は大きく変化し、先行きが見通しにくい、まさにVUCA（ブーカ）の時代となっています。

来年の今頃、社会や世界がどうなっているのか、全く、誰も予測することができない時代となっています。

こうした変化の激しい時代だからこそ、横須賀市は、現在、その変化をむしろ力に変え、市政を前に進める追い風にしようとしています。

そして新しい風としての皆さんの存在は、横須賀市にとって、更なる大きな推進力になると、私は確信しています。

そこで皆さんに、これから横須賀市職員として勤務するうえで、お願いしたいことが三つあります。

まず一つ目は、「忠恕」の精神を持ち続けることです。

これは、私が市長に就任して以来変わらずに、最も大切にしている言葉で、横須賀市職員一人ひとりに求め続けている心構えそのものです。

この言葉は、孔子の教えに由来する言葉で、「自分の良心に正直に、真心をもって人に接し、信頼される人であること」を意味します。

公務員として市民の皆さんと向き合ううえで、最も基本であり、最も人として重要な姿勢だと、ずっと大切にしてきました。

毎年、新規採用職員の皆さんには必ずお伝えしている言葉でもあります。

市民の皆さんからの信頼なくして、私たちの仕事は成り立ちません。

日々の業務の中で、常に自らの良心に問い、正直に、誠実であり続けてもらいたいと思います。

続いて二つ目は、「人にしかできない仕事」を追求するということです。

皆さんもご承知のとおり、生成AIの進化は目覚ましく、文書作成や翻訳、画像・動画・音楽の生成など、あらゆる分野で、もはや人を凌駕していると言っても過言ではありません。

知識は既に網羅され、事務作業も瞬時に完結する時代であっても、0と1だけでは表しきれないものがあります。

それは、私たち人間の「考える力」と「想像する力」です。

AIは今ある情報をもとに答えを導き出しますが、人はゼロから問いを立て、迷い、悩み、試行錯誤を重ねながら、目の前の課題を乗り越え、新しい未来を形にしていくことができます。

そしてもう一つ、AIに置き換えることのできない大切な役割があります。それは、市民の暮らしを支える現場の仕事、いわゆる「エッセンシャルワーカー」の存在です。

災害時の対応、福祉の支援、窓口での相談、子どもや高齢者を守る取り組みなど、市民一人ひとりに寄り添い、命と暮らしを守ることは、最後は必ず「人の力」によって支えられており、これこそが、自治体としての本質、公務員の本質だと思っています。

これから皆さんは、様々な場面で市民生活を支える仕事に携わります。

どうか、自分の仕事が市民にとってかけがえのない支えになっていることに誇りを持ち、学び続け、磨き続けてください。

横須賀の未来は、皆さんの「人にしかできない力」によって、前へ進んでいくのです。

最後に三つ目は、「私たちの使命」です。

行政の最終目的は、冒頭にも伝えましたが、福祉の充実にあります。

そして、私たちが目指すべき姿は、横須賀で暮らすすべての人が多様性を認め合い、支え合い、誰もが手を取り合って慈しみ合い、助け合うことのできる

「だれも一人にさせないまち」を実現することです。

横須賀市役所のすべての部局は、市民一人ひとりが、それぞれの幸せを追求できるよう、必要な環境を、行政の立場で整えるために存在しています。

皆さんが目の中の仕事に真摯に向き合い、変化から目をそらさず、より良くしていこうと工夫を重ねる。

その一つひとつの積み重ねが、市民の暮らしと幸せに、確実につながっていきます。

そして、その仕事は、職員自身が横須賀を愛し、この組織の役割に誇りと情熱を持ってこそ、市民に伝わります。

横須賀市の職員であるという自覚と責任と愛を胸に、自分の仕事に向き合ってください。

市民の幸せのために働くことこそが、私たちの揺るぎない使命である。

どうかこのことを、決して忘れないでもらいたいと思います。

社会は常に変化し、来年の今頃、世界がどうなっているか、誰も予想できない時代です。だからこそ私たちは、変化に遅れをとるのではなく、むしろ先駆者として、変化を力に変え、市政を前に進めていく使命があります。

困難も課題も少なくありません。

しかし、これまで幾度となく、私たちの先輩たちは、その難局を乗り越えてきました。

私は、「私たちならできる」と、本気で信じています。

皆さん一人ひとりの力を合わせ、

横須賀のプライドと、そしてアイデンティティを胸に、誇りある横須賀の未来を、一緒に、つくっていきましょう。

改めて、本日、皆さんを横須賀市の職員として迎えられたこと、心から嬉しく思います。

よろしく申し上げます。